

第 3 期 「京都市市民参加推進計画」 の施策（案）

計画推進のための施策

目指す未来像の実現に向け、今後5年間で取り組む内容

基本方針1「市民との未来像・課題の共有」
基本方針2「市民の市政への参加の推進」
基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

ウィズコロナ
新しい生活様式

- ・市政参加を推進するフェーズ(局面)
- ・まちづくり活動を活性化させるフェーズ(局面)
- ・推進する「施策」(第2期改定版:19)
+各施策の「具体的な推進例(取組)」

基本計画
の視点

計画を着実に進めるための推進体制

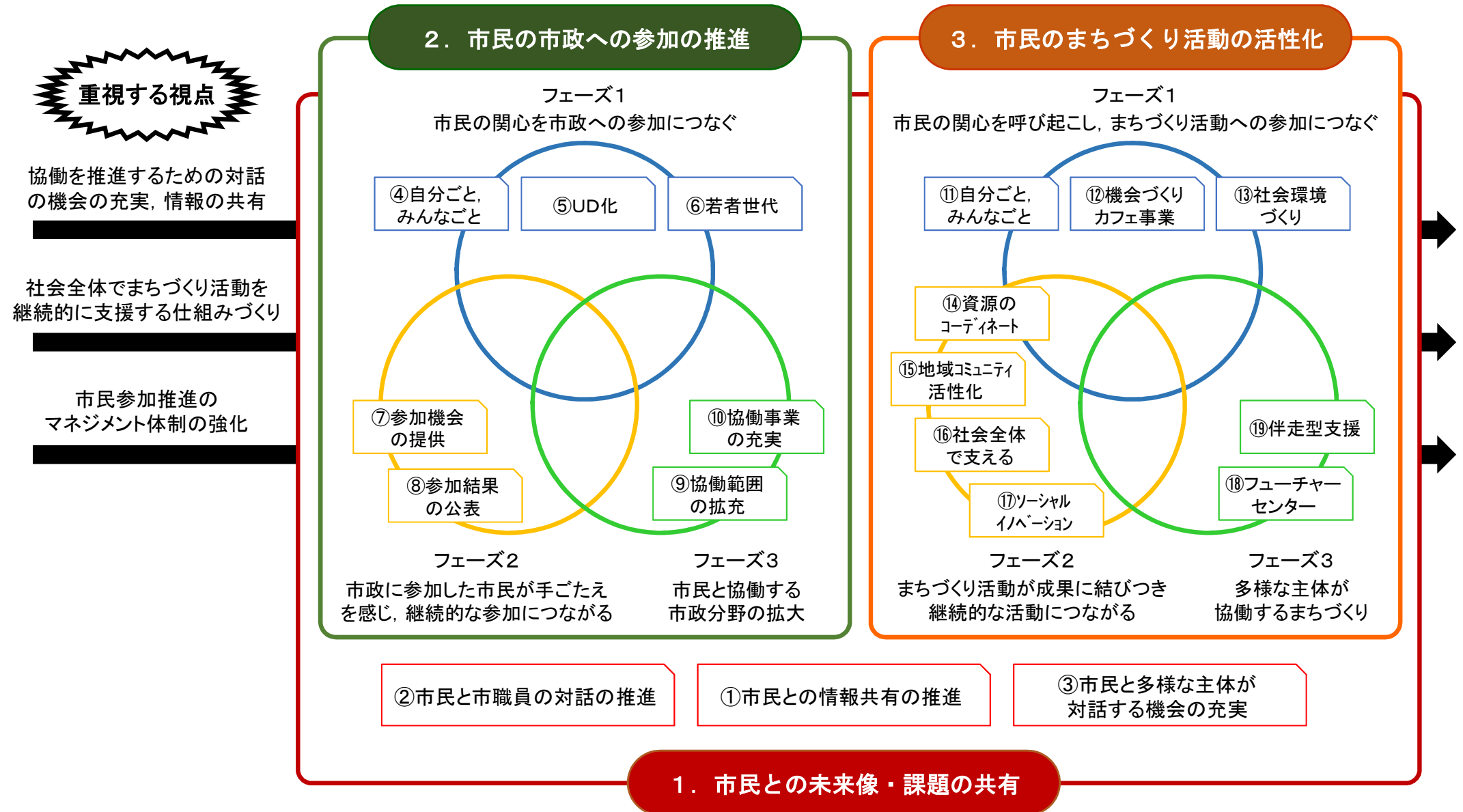
次期基本計画の
新重点戦略, 視点
(未来へのたねま
き, 多様性, 政策
融合等...)を考慮

三つの重視する視点

- ・「学び」や「信頼」を
はぐくむ対話の推進
- ・次世代につながる
市民参加の裾野の拡大
- ・協働による
課題解決への挑戦

計画推進のための施策

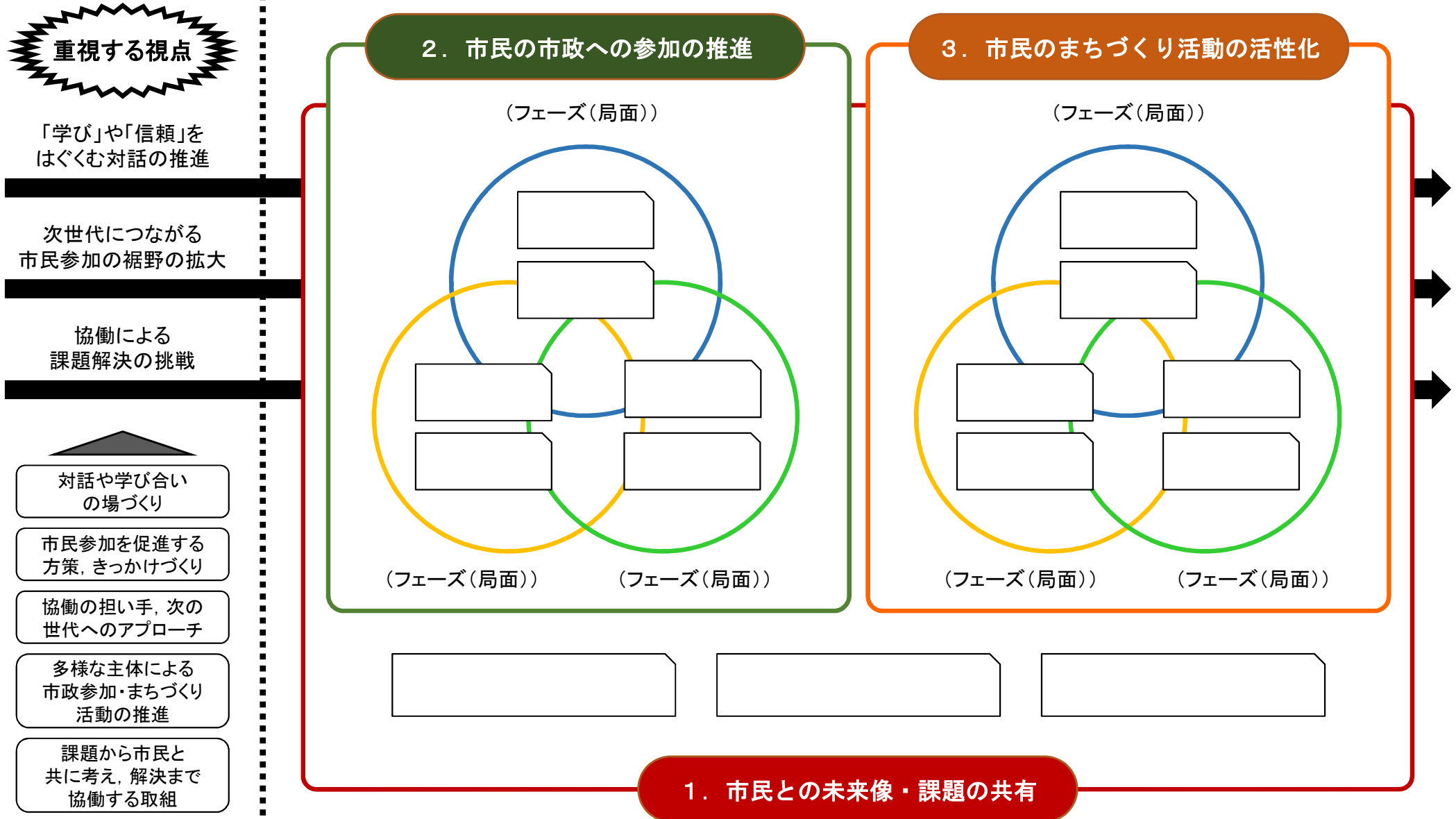
第2期京都市市民参加推進計画（改定版）



計画推進のための施策

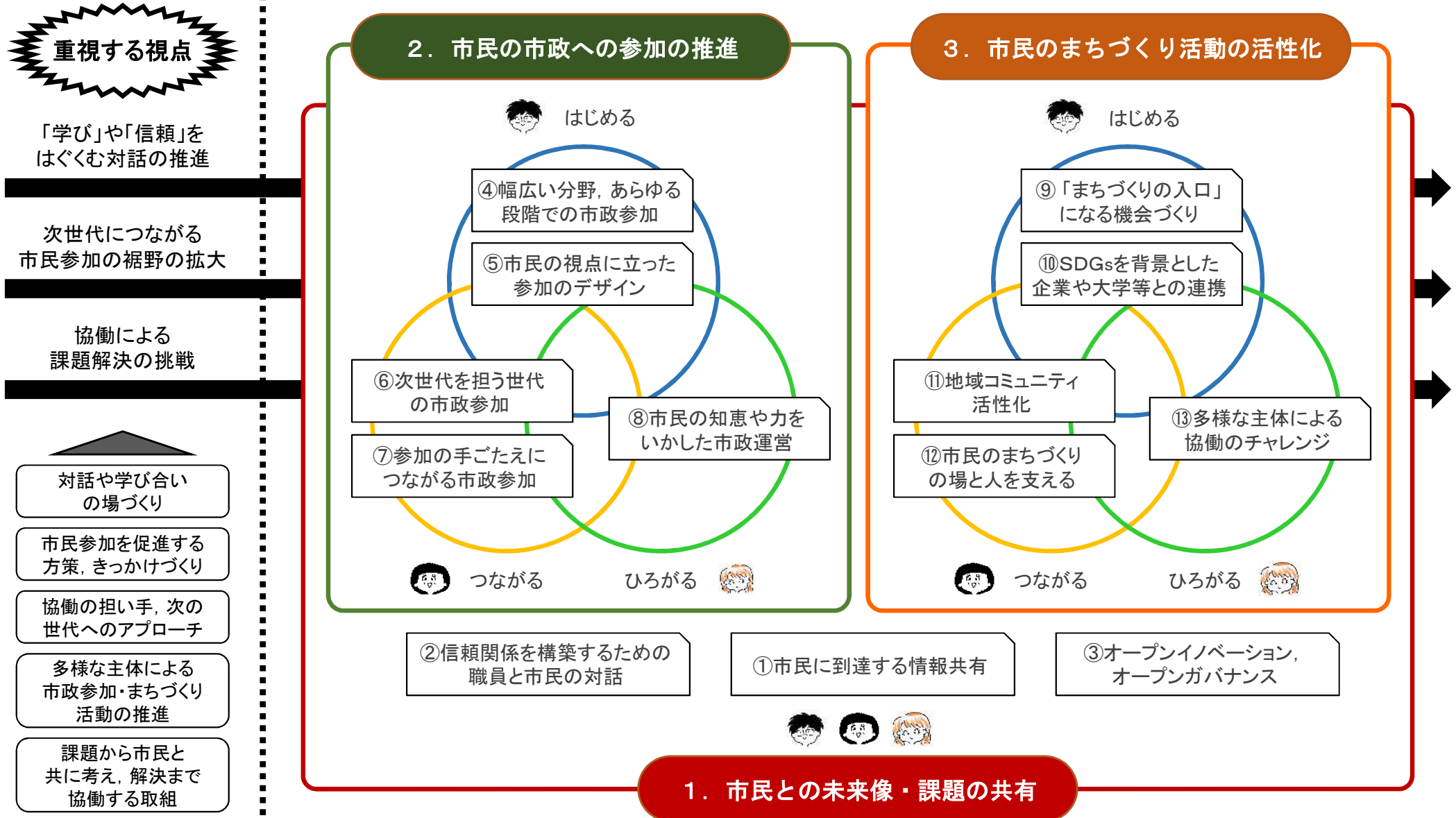
第3期京都市市民参加推進計画

令和元年度に議論 ← → 令和2年度にフォーラムで議論



第3期京都市市民参加推進計画

令和元年度に議論 ← → 令和2年度にフォーラムで議論



施策構成案

(フェーズ)	基本方針1 未来像・課題の共有		関連するこれまでの議論やキーワード
はじめる つながる ひろがる	施策1	市民に到達する情報共有の推進	より到達を意識した情報発信
	施策2	信頼関係を構築するための職員と市民の対話の推進	対話の質の向上, 信頼や学び合い
	施策3	オープンイノベーション, オープンガバナンスの推進	課題をオープンに, 未来志向, 新たな挑戦

(フェーズ)	基本方針2 市民の市政への参加の推進		関連するこれまでの議論やキーワード
はじめる	施策4	幅広い分野, あらゆる段階での市政参加の機会の提供の推進	参加機会の提供, WS等の充実
	施策5	市民の視点に立った参加のデザインの推進	これまで参加されなかった方々へのアプローチ, 楽しみ, メリットのある参加, 参加の好循環
つながる	施策6	子ども, 大学生, 若手社会人等, 次世代を担う世代の市政参加の推進	次世代につなぐ, 市民の学び, シチズンシップ教育, 市民が意見を伝えることの大切さ
	施策7	参加の手ごたえにつながる市政参加の推進	市民も行政も手ごたえ(成果や学び), 政策過程の見える化
ひろがる	施策8	市民の知恵や力をいかした市政運営の推進	新たな挑戦

(フェーズ)	基本方針3 市民のまちづくり活動の活性化		関連するこれまでの議論やキーワード
はじめる	施策9	「まちづくりの入口」になる機会づくりの推進	楽しみ, 参加の好循環
	施策10	SDGsを背景とした企業や大学等との連携強化	企業, 大学等の参加機運の高まり
つながる	施策11	地域コミュニティ活性化の取組	防災, レジリエンス, 地域の担い手不足
	施策12	市民のまちづくりの場と人を支える仕組みづくり	持続可能なまちづくり, 担い手の育成, 関係人口の参加
ひろがる	施策13	多様な主体による協働のチャレンジの推進	トライアンドエラー, 新たな挑戦

計画推進のための施策


基本方針1「市民との未来像・課題の共有」

施策1



未来像や課題を共有するためには…なにから始めたらいいんだろう？

キーワード：
より到達を意識



施策1：市民に到達する情報共有の推進

京都市の政策，施策，事業だけでなく，課題も含め，市政参加やまちづくりに興味を持つきっかけのために，あらゆる主体に向けて，必要な情報を発信します。情報発信は，分かりやすさとともに，到達主義（届けた対象にしっかり伝わること）を重視します。

（推進例）

- ・情報発信について，わかりやすく数値化，図示化，解説するなど，暮らしとの関わりや影響を想像しやすくなる工夫
- ・市民しんぶん等の広報物，ホームページやSNS，スマートフォンアプリの活用
- ・民間メディアとの積極的な連携

など

（具体的な取組）

取組例1
○○○○

取組例2
○○○○

取組例3
○○○○


取組例4
○○○○

★ 重視する視点！
次世代につながる
裾野の拡大

計画推進のための施策


基本方針1「市民との未来像・課題の共有」

施策2



未来像や課題を共有するためには…どんなつながりが大事？

キーワード：
対話の質の向上，信頼，学び合い



施策2：信頼関係を構築するための職員と市民の対話の推進

未来像と課題を共有し，良い方向につなげていくためには，成果や既に決まったことがらだけでなく，お互いに抱える課題やこれから決めなければならないことも含めて，職員と市民が，互いに対等の立場で，未来志向の対話を行うことが重要です。市民にとっても，職員にとっても，安心安全で話しやすい対話の機会をつくることを推進します。

(推進例)

- ・政策や方針の検討過程でワークショップの実施など，市民と市職員が対話により意見交換するプログラムを実施
- ・「市政出前トーク」のほか，地域への出前講座や大学等への出講など，アウトリーチによる対話を推進
- ・市民同士の地域のまちづくりの問題発見，課題設定などの場に，市職員の積極的な参加
- ・地域での対話の場づくりやつながりを促進するファシリテーターの育成

(具体的な取組)

取組例1
○○○○

取組例2
○○○○

取組例3
○○○○


取組例4
○○○○
★重視する視点！
「学び」や「信頼」を
はぐくむ対話の推進

など

計画推進のための施策

基本方針1「市民との未来像・課題の共有」

施策3



未来像や課題を共有したら…どんなふうにひろがるの？

キーワード：
課題をオープンに，未
来志向，新たな挑戦



施策3: オープンイノベーション, オープンガバナンスの推進

対等な立場で，未来像と課題を共有し，解決や新しい未来をともに創るためには，行政だけでは解決できない取組や新しい挑戦が必要になってきます。そのために，多様な主体が，協働して，未来のために行動するきっかけとなる対話の場，情報共有の場をつくることを推進します。

(推進例)

- ・市民や地域の住民組織，NPO，企業・事業者，大学，寺社等の多様な主体が自由に参加し，地域の課題やまちづくりについて対話する企画を充実
- ・市民による主体的な対話の場の創出に対して，運営のアドバイスや会場の提供，情報発信，専門知識・ノウハウを持った協力者の紹介等の支援を実施
- ・市が保有する様々なデータをまちづくりに活用できるよう，オープンデータを推進 など

(具体的な取組)

取組例1
○○○○

取組例2
○○○○

取組例3
○○○○



取組例4
○○○○

重視する視点！
協働による課題
解決への挑戦

計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策4

はじめる



市政参加するためには…なにからはじめたらいいんだろう？

キーワード：
参加の機会，対話の
場等の拡充

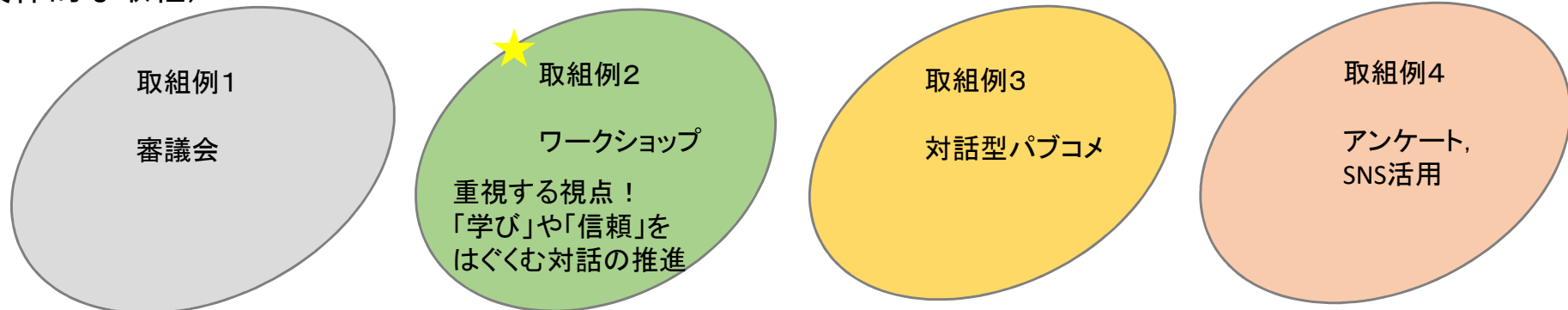
施策4：幅広い分野，あらゆる段階での市政参加の機会の提供の推進

市政参加は，民主主義で保障された市民の権利です。また，複雑多様化する社会課題の解決のためには，政策の形成段階から市民と行政がともに考えることが求められます。すべての施策，事業において，常に市民の知恵が反映される制度を推進します。

(推進例)

- ・附属機関等委員の市民公募，アンケートやアイデア募集，パブリック・コメント，対話による意見聴取などの手法で，広く市民意見が市政に反映される機会を拡充
- ・政策形成や事業の企画段階で，市民の問題意識やアイデアなどを取り入れるため，ワークショップなど対話の手法を積極的に活用
- ・パブリック・コメントについて対話型パブリック・コメントの実施など，より幅広く，多くの方に意見をいただける工夫など

(具体的な取組)



計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策5

はじめる



はじめてみたくても、はじめかたがわからない？

キーワード：
デザインシンキング, 楽しみ, メリット,
参加の好循環, アウトリーチ

施策5:市民の視点に立った参加のデザインの推進

市民参加の裾野拡大のためには、これまであまり市政に興味をお持ちでなかった方、興味はあるけど参加の方法がわからない方の参加のきっかけづくりが重要です。市民視点に立った市政参加の場や手法の設計を推進します。

(推進例)

- ・オンライン会議や動画配信など、直接会場に行くことが難しい市民にも、参加しやすい場の工夫
- ・会議やワークショップ等で、子供も一緒に参加できる工夫や、参加しやすい時間帯や場所の工夫
- ・通訳や要約筆記の整備、やさしい日本語の活用など、誰もが参加しやすいユニバーサルデザイン
- ・市民協働ファシリテーターの積極的な派遣や活用

など

(具体的な取組)



取組例1
オンライン推進
重視する視点！
次世代につながる
裾野の拡大

取組例2
場の設計,
時間帯, 周知
方法の工夫

取組例3
UD(障害者,
育児, 介護, 外
国製住民, 等)

取組例4
〇〇〇〇

計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策6

つながる



未来につながる市政参加とは？

キーワード：

シチズンシップ, SDGs, 次世代につなぐ, 意見を伝えることの大切さ

施策6: こども, 大学生, 若手社会人等, 次世代を担う世代の市政参加の推進

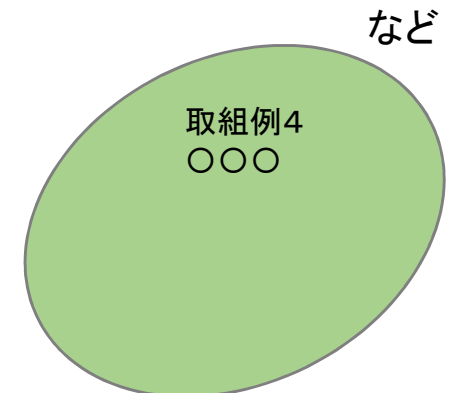
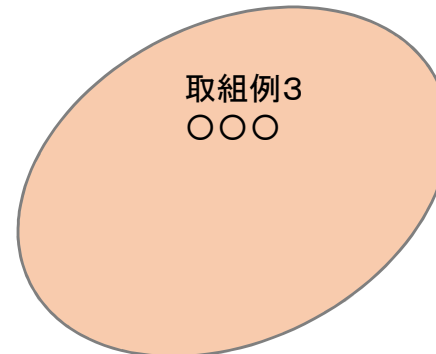
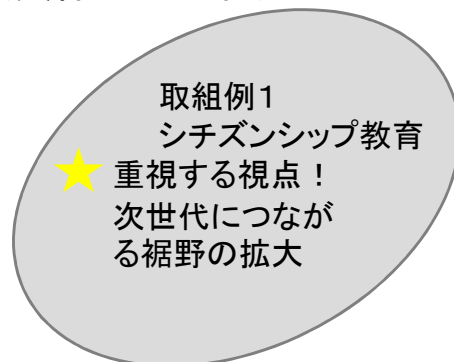
多くの市民が社会に興味を持って参加し, 市民と行政が良好な協力関係をもって未来を共につくるためには, 次世代の地域社会を担う若い世代の市政参加の推進が重要です。

シチズンシップ教育はじめ, 社会に興味をもつきっかけづくりや, 大学と連携したまちづくり, 若い社会人や地域の子育て世代等の市政参加を推進します。

(推進例)

- ・若い世代のころから民主主義の担い手としての資質・能力を育むための教育(シチズンシップ教育)や啓発等を様々な機関等と連携して実施
- ・SDGsの普及促進とともに, 学生や企業などの学びや交流の場づくり
- ・小中学校, 高校, 大学等の授業との連携による市政参加のきっかけづくり

(具体的な取組)



計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策7

つながる



次につながる市政参加とは？

キーワード：

市民も行政も手ごたえ（成果や学び）、
過程の見える化

施策7：参加の手ごたえにつながる市政参加の推進

市政参加が継続的なものになるためには、市民と行政が協働によって、どのような成果が生まれたか、市民と行政がどのようなプロセスで政策形成を進めたかなど、共に手ごたえを実感できることが重要です。市民の意見の反映について、パブコメやアンケートの結果を公表するとともに、決定のプロセス、協働の成果を共有することを推進します。

（推進例）

- ・パブリック・コメントやアンケート、ワークショップなど、市民意見の募集・聴取について、その反映状況等をわかりやすく公表
- ・市民と行政の協働の実践について、プロセスも含めて情報発信し、協働の成果を共有

など

（具体的な取組）

取組例1
パブコメ結果公表

取組例2
アンケート結果
と施策への反映

取組例3
政策形成
プロセスの発信

取組例4
○○○○

計画推進のための施策

基本方針2「市民の市政への参加の推進」

施策8

ひろがる



市政参加分野がより広がるには？

キーワード：
新たな挑戦, SDGs, 企業等の事業者も, ICT活用

施策8:市民の知恵や力を活かした市政運営を推進する。

あらゆる市政分野において、施策・事業を実施する上で、市民意見を反映することはもとより、ソーシャルな活動(CSR,CSV,SDGs貢献等)を推進する企業等事業者も含めた幅広い市民の知恵と力を最大限活用し、より効果的な事業・施策運営ができるよう推進します。

(推進例)

- ・これまで行政が中心に行ってきた分野についても市民の知恵と力をいかす取組を推進
- ・市がまだ取り組んでいない課題に対し、市民が先駆的に取り組んでいる活動について、協働した取組を推進
- ・市民、企業等の多様な主体との協議会や実行員会等を設置し、協働した取組を推進

など

(具体的な取組)

取組例1
クロスセクター

取組例2
SDGsによる
企業の協力

取組例3
企業提案型
のICT活用

取組例4

計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策9

はじめる



まちづくり活動はじめるにはどうしたらいいの？

キーワード:

きっかけ, 顔の見える関係, 楽しみ, 参加の好循環

施策9:「まちづくりの入り口」になる機会づくりの推進

より多くの方がまちづくりに興味を持って参加するために、楽しさや意義を感じてもらう、参加のハードルを低くする、サービスを受けた経験から提供者になるような工夫をする等に取り組みます。

(推進例)

- ・各区のまちづくりカフェ事業など、市民がまちづくりについて情報収集や意見交換できる機会を設ける・
- ・市民がボランティア活動やまちづくり活動を始めようとする際に必要となる情報を、各窓口で提供するほか、ポータルサイト等での情報発信、市民自らの情報発信につなげる取組

など

(具体的な取組)

取組例1
まちカフェ

取組例2
サービスを受けた人が次に提供者になり
たくなる取組

取組例3
まちづくりの
情報発信
市民ライター
市民Tuber

取組例4
シチズンシップ
ゲーム

計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策10

はじめる



より多くの人まちづくり活動をはじめるきっかけづくりとは？

キーワード：
SDGs, 企業, 大学等の参加機運の高まり

施策10:SDGsを背景とした企業や、大学等との連携の強化

2030年を目標としたSDGsの達成のために、官民が協力することが求められるなかで、これまでになく、企業や大学をはじめとした多くの主体が、社会活動、地域活動への意欲を高めています。行政がそのハブとなり、様々な新しい主体のまちづくり活動への参加を推進していきます。

(推進例)

- ・大学や学生が地域と一体となって行うまちづくりや地域活性化の取組を一層推進
- ・市民ぐるみでSDGsを推進し、企業や大学等の連携を拡大
- ・“みんなごと”のまちづくり推進事業をはじめ、様々な活動支援事業を有機的に連携させ、市全体のフューチャーセンター機能を強化

(具体的な取組)

取組例1
大学政策

取組例2
SDGs

取組例3
お宝バンク

取組例4
〇〇〇〇

など

計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策11

つながる



まちづくり活動が地域につながっていくために必要なことは？

キーワード：
地域の担い手, 防災, レジリエンス, 成功例の共有

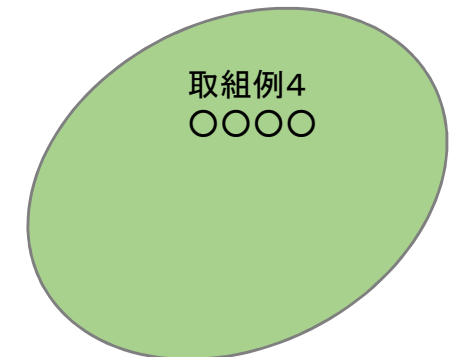
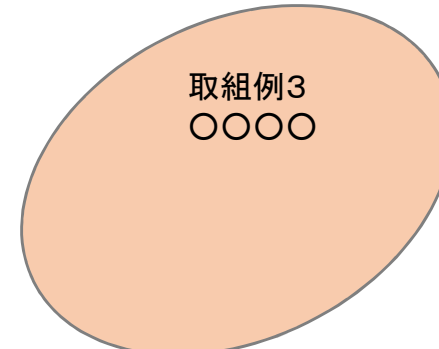
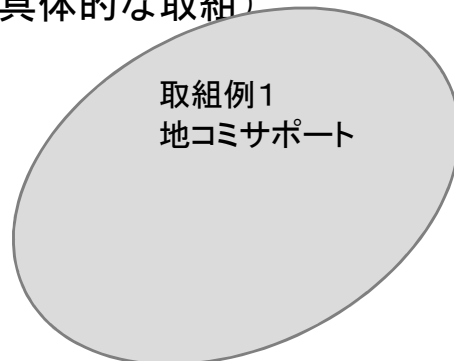
施策11: 地域コミュニティ活性化の取組

まちづくり活動の重要な場として地域コミュニティは欠かせません。自治会や、町内会などの地域住民組織はじめ、地域の市民活動団体、地域事業者等、多様な地域のプレイヤーが新しい担い手を育成し、地域の個性を生かして活動できるようサポートする取組を進めます。

(推進例)

- ・地域の住民組織や大学, NPO等と連携し, 学生など若い世代を対象とした地域活動への参加の機会づくり, 地域活性化の取組の推進
- ・地域の課題やまちづくりについて, 市民をはじめ多様な主体が対話する機会の充実
- ・地域の住民組織や様々な機関・団体と連携した, 自治会・町内会などの地域の住民組織への加入促進

(具体的な取組)



など

計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策12

つながる



活動がつながって継続していくために必要なことは？

キーワード：

持続可能, 担い手育成, 支え合い, 関係人口の参加

施策12:市民のまちづくりの場と人を支える仕組みづくり

市民のまちづくり活動が持続可能な取組となるために、行政の支援(コーディネート, 財政支援, 人的支援等)と、市民同士で活動を支え、理解する社会全体の環境づくりの両方が重要です。活動する市民へのサポートともに、市民活動以外の形(寄付, ビジネス等)で協力し合える仕組み等も推進します。

(推進例)

- ・まちづくり活動に対して、助成金等による資金支援のほか、様々な知識・ノウハウを学ぶ講座の実施, 専門家の派遣など, 目的に応じたきめ細かな支援を実施
- ・区役所・支所と市民活動支援施設, NPO, 大学, 民間事業者等との連携を促進し, 効果的なまちづくり活動支援を実施

(具体的な取組)

取組例1
区民提案型
まちづくり支援事業

取組例2
クラウド
ファンディング

取組例3
クロスセクター

取組例4
○○○○

など

計画推進のための施策

基本方針3「市民のまちづくり活動の活性化」

施策13

ひろがる



活動がさらにひろがっていくには？

キーワード：
新たな挑戦，トライアンドエラー，
クロスセクター

施策13：多様な主体による協働のチャレンジの推進

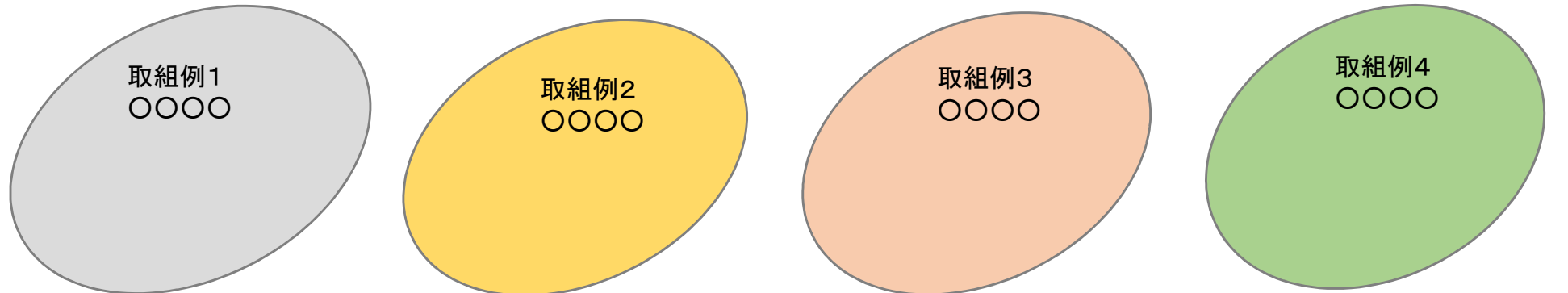
複雑多様化した社会課題に簡単に正解はありません。市民によるまちづくり活動は、行政も対等なパートナーの一人として含んだ多様な主体が協働し、それぞれの知恵と力と出し合うことで、大きな成果や地域課題の解決に近づくことができます。

多様な主体の協働を促すとともに、組織や立場、分野や世代を越えて、協働して取組に挑戦できる仕組みづくりを推進します。

(推進例)

- ・市民，地域の住民組織，NPO，企業・事業者，大学，寺社，行政等，多様な主体が，京都がもっと良くなるための知恵と力を合わせ，協働する“みんなごと”のまちづくりの推進
- ・民間における社会課題解決のチャレンジとの連携
- ・トライアンドエラーで挑戦できる，効果的なまちづくり活動の実践

(具体的な取組)



計画を着実に進めるための推進体制

(必須事項)

- 市民参加推進条例の基本理念に基づいた組織設計
- 市民参加推進会議の役割／市会との関係
- (今後5年重視する視点案)
- 都市経営の視点を持ち、多様な主体との協働をコーディネートできる職員の育成
- ICTも活用した市民参加の体制強化
- ・・・

(具体的な推進例)

